

# 7 月度支部役員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：令和 2 年 7 月 28 日（火） 15：00～18：00

会 場：Web 会議による開催（電子会議システム Zoom ミーティングを使用）

出席者 山中支部長

常 議 員 金 尾、西 影、西 崎、西 野、柳 沢  
伊 藤、伊 庭、志 摩、 谷 、山 邊、吉 岡、吉 田

支部監事 久保園、遠 山

事 務 局 児 玉、緒 方

## 【審議事項】

### （1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

### （2）理事会、支部長会議報告の件

- 支部長より、7月22日(水)に開催された理事会および支部長会議の報告が行われた。理事会の主な報告としては、「委託研究の受託について (1)『仮称)港区港南3丁目計画』に関する周辺風環境及び計画建物に作用する風圧力の風洞実験調査(近畿支部)」、「規程類の制定・変更について (1)時差出勤実施に関する労使協定書の締結 (2)理事会資料の取り扱いについての申し合わせの変更」、「2020年度大会(関東)の経費精算について」、「2021年度大会(東海)の大会委員会・実行委員会の委嘱について」、「2020年(第31回)日本建築学会「優秀卒業論文賞」および「優秀修士論文賞」選考結果報告」、「2020年度竹中育英会建築研究助成交付報告」、「2021年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼」、「新型コロナウイルス対応について (3)2021年度大会(東海)の開催方法 (6)学会長からのメッセージ「種々のリスクに対して社会のレジリエンスを高めるための多様な視点」 (8)建築教育アンケートについて(新型コロナウイルス関係) (9)建築士試験の状況報告」などであった。  
支部長会議の主な報告としては、「支部運営における確認事項について」、「各支部の財政状況について」、「各支部の会員数について」、「支部総会のあり方について」などであった。
- 支部長会議での「支部総会のあり方について」は、下記の方針案を実施することで本部へ回答することとした。

#### 【参照】3. 支部規程変更方針案

- 2) 支部総会は開催するが、議決事項は無しとして報告事項のみとする。  
⇒支部総会での議決事項は支部役員会議決とし、支部総会で報告する。  
支部総会の成立要件を外す。

(3) 本部学術推進委員会報告の件

- 7月8日(水)に開催された本部学術推進委員会の報告については、金尾常議員(当支部代表本部学術推進委員会委員)から報告があった。  
主な報告としては、「2020年度大会について」、「2021年度大会について」、「公募委員選定結果について」、「特別研究委員会の公募について」、「2021年度予算配分方法について」、「Withコロナ/Postコロナへの対応について」、などであった。
- 配布資料として4月度予定議案が配布されたことについては、事務局からお詫びが述べられた。

(4) 支部報告 1. 事業報告

2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(5) 2021年日本建築学会教育賞(教育業績)推薦依頼の件

- 支部長および事務局から本部に推薦するまでのスケジュールについて説明があった。
- 席上にて、候補者として佐野春仁氏が挙げられたので、次回役員会までに候補者の推薦関係書類(案)を担当の役員から役員会に提出することとした。  
(本部への推薦締切日：2020年10月2日(金))

(6) 2021年日本建築学会文化賞候補業績推薦の件

- 支部長および事務局から本部に推薦するまでのスケジュールについて説明があった。
- 支部長から、候補者を検討するよう役員に対し指示があった。
- 昨年に挙げられた、松本敏廣氏を候補者の一人とすることにした。
- 遅くとも11月度支部役員会までには候補者を決定することとして、次回役員会以降の継続審議とした。  
(本部への推薦締切日：2020年12月7日(月))

(7) 2021年日本建築学会大賞業績候補推薦の件

- 支部長および事務局から本部に推薦するまでのスケジュールについて説明があった。
- 支部長から、候補者を検討するよう役員に対し指示があった。
- 昨年に挙げられた、鈴木計夫先生を候補者の一人とすることにした。
- 遅くとも12月度支部役員会までには候補者を決定することとして、次回役員会以降の継続審議とした。  
(本部への推薦締切日：2021年1月18日(月))

(8) 「作品選集2021-2022」近畿支部選考部会委員について

- 当支部作品選集選考部会の三輪康一部会長から、来年度の選考部会委員について支部に対し検討の依頼があった。
- 席上にて検討した結果、退任支部長が次の選考部会長を担当する慣例により、現支部長を中心に来年度の委員を構成することが承認された。

(9) 日本建築学会近畿支部 特別記念行事(仮称)の開催日程について

- 複数の候補日の中から、会場となる大阪科学技術センターで最大規模の大ホールが利用できる、1月25日(月)とすることが認められた。
- 開催日については、講演される本会大賞西川幸治先生および浅田剛治氏に通知し、承諾をいただくこととした。

(10) 今年度の研究発表会に応募のあった二重投稿の原稿について

- 山形大学の中尾七重氏から、当支部と東北支部の研究発表会と二重投稿したので、原稿を取り下げたい旨の申請があった。
- 席上にて審議した結果、取り下げについては共著者(2名)の了解が確認されたのちに認めることとした。

(11) 「ユニチカ記念館(尼崎市)」保存要望書の件

- 当支部近代建築部会の笠原主査が出席されて、要望書および見解文、建物の写真について説明があった。
- 席上にて審議した結果、要望書類の提出については承認された。

(12) 学生とU40に対する支援の在り方について

- 当支部研究委員会にて、次回の役員会までに検討することとし、検討の結果は、研究委員長から役員会に報告されることにした。

(13) 後援名義借用依頼の件

- 次の後援名義借用事業2件については承認することとした。

①総合図作成ガイドライン解説講習会

- 期 日 7月29日
- 会 場 WEB講習会
- 主 催 大阪府建築士会

②限界耐力計算による木造耐震設計レビューと改修事例の紹介

- 期 日 9月2日
- 会 場 大阪建築健保会館
- 主 催 大阪府建築士会

(14) その他

○2023年度本会大会(近畿)の対応について

- 2023年度の本会大会の開催については、京都大学の関係者を中心として当支部の会員が協力して対応することが確認された。
- 柳沢常議員から、候補となる会場(大学)を具体的に検討していることが報告された。

## 【報告事項】

### (1) 研究発表会収支報告の件

- 今回の発表会収支に関しては、暫定収支として22万円(前年度は20万円)程度の剰余が発生する見通しであることが事務局より報告された。
- 発表会が開催できなかったために、収支のバランスが不安視されたが、報告集の頒布に協力いただいた関係者に対し、事務局からお礼が述べられた。

### (2) 設計競技支部審査結果報告の件

- 今回応募のあった42作品は、7月17日に開催された当支部審査会の結果、10作品が支部入選に決定したとの報告があった。

### (3) その他

- 「まちつく2020」の担当役員参加について
- 西影常議員から、新任の担当役員はリモートにより参加していただくよう依頼があり、参加方法についての説明がおこなわれた。

以上